

京都府知事選挙 4月6日投票

3月21日～4月5日まで期日前投票

午前8時30分～午後8時 土・日・祝もできます
府会補欠選があるところは3月29日～4月5日市役所、区役所、役場、支所などで
できます

京都総評

京都地方労働組合総評議会：発行

第198号

発行所

京都市中京区壬生仙念町30-2 ラポール京都5階

京都地方労働組合総評議会（京都総評）

電話 075（801）2308 FAX 075（812）4149

E-mail sohyo@labor.or.jp URL http://www.labor.or.jp/sohyo/

〈発行責任者〉 吉岡 徹 〈編集責任者〉 吉岡 勝

京都労働相談センター

電話 0120-378-060 E-mail scent@labor.or.jp

3月13日京都市役所前からのデモ



3月11日府庁東門前での街頭宣伝

国言いなりの府政の転換を、 安倍政権の暴走ストップ！

3月11日、震災から3年目を迎えるメモリアルデーを府庁前で昼休みに実施。約1000人が参加。街頭演説とデモを実施しました。

3月13日には、京都総評をはじめ諸団体の共同で、安倍内閣の暴走ストップ！かける3・13府民行動を開催。夕方から京都市役所前での街頭演説会と四条河原町までのデモを行いました。

街頭演説会では、京都総評・吉岡議長が「消費税増税や米軍基地設置など安倍政権の暴走はあらゆる分野におよび、国民の願いに逆行するもの」「府知事選挙で暴走にストップをかけよう」とよびかけました。また、京都民医連・尾崎会長は、「力を合わせて憲法の生きる府政に変えよう」と訴え。京商連、京建労、京都医労連、自由法曹団、市民団体などが怒りの声をあげました。

今年の春闘は、大手企業がベースアップの回答をするなど、賃金引き上げの流れがあります。しかし、大手の回答も今年度の物価上昇分（0.7%）のぎりぎりで、4月からの消費税増税には全く対応できない水準です。一方中小では、経営環境がきびしい中、ベースアップの獲得や回答引き出しへ奮闘しています。京都総評傘下の労働組合は、3月13日を中心に、2014春闘の統一行動を実施しました。JMIU、通信労組、京都医労連、建交労、全国一般、郵政産業ユニオンの傘下組合がストライキを実施。単産や地区労協が激励にかけつけました。フットロをあたため、地域を元気にすることをめざし、粘り強いたたかいははじまっています。



右上から：建交労京都鉄道地方本部のスト、通信労組京都支部のスト、京都医労連・全日赤第二日赤労組のスト

左上から：全国一般・京都生協労組・同パート労組のスト、JMIUのスト、郵政産業労働者ユニオンのスト

2000人以上が
ストライキに参加

JMIUは、3月6日に
畑鐵工所分会がはじめてストライキを実施したのを
はじめ、夕方にはカシワジ構
内で、JMIU京滋地本の

決起集会を開催。ストライキで参加したカシワジ支部の組合員をはじめ、京都総評をはじめ単産が激励に参加。約200人が参加し決意を固めました。

3月13日には、重税反対統一行動、春闘の統一行動、安倍内閣の暴走にストップをかける全国行動などが朝から夜まで行われました。通信労組、京都医労連・全日赤（第

京都医労連傘下では、団体交渉で「ベアを絶対出してほしい」「こんな賃金ではきてもらえない」など切実な訴えが出されました。



主な日程

4月10日	労働者派遣法改悪許すな！ 街頭宣伝とデモ (18～マルイ前、19～仏光寺公園出発デモ)
5月1日	第85回全京都統一メーデー
5月3日	憲法集会(14～円山音楽堂)

さらに、3月18日には、郵政産業労働者ユニオンがストライキを2ヶ所所実施。要求に応えない回答水準と20万人を超える非正規労働者の待遇改善など、職場労働者の怒りの声がたくさん出されました。

これらのストライキには、約2300人が参加。今春闘での賃金引き上げ、非正規雇用労働者の待遇改善、人員配置などを求めました。

賃金引き上げ求め
引き続きたたかいを

また、13日には、重税反対統一行動が府内23ヶ所所実施され、民商の会員、京建労の組合員をはじめ、地区労協などから約4500人が参加。消費税増税を前に、引き上げ反対、増税のストップを求めて集会とデモが実施されました。さらに、夜には、京都市役所前で「安倍政権の暴走ストップ！暮らし破壊は許さない3・13府民行動」が実施されました。（左上参照）

京都春闘共闘傘下では、3月12日時点で約100以上の職場で要求が出され、このうち3分の1強の職場で回答が出ています。引き続き、すべての組合員の参加で賃金引き上げを求めたたたかいを強めていきます。

新卒で派遣労働者になり一生派遣!! 直接雇用の労働者がいなくて全員派遣労働者という企業もでてくる!! ▼

労働者派遣法の改悪法案が国会に出されようとしている。派遣労働は「臨時的、一時的なものに限る」という原則をなくして、企業は、派遣会社に無期雇用されている派遣労働者はずっと派遣で使い続けられるようになり、有期雇用の派遣労働者は人を替えるはその業務にずっと派遣労働者を使える。企業にとってこんなに都合のいい法律に変えるというのだ。「世界で一番企業が活動しやすい国」づくりのために。▼働く者にとってはとんでもない法律。新卒で就職先は派遣会社の派遣登録、有期雇用は派遣労働者は3年で雇い止めで新たなところでまた派遣、無期雇用の派遣労働者はずっと派遣のまま。今正社員がしている仕事もほとんど派遣に置き換えが進む。いよいよ日本は派遣労働がスタンダードになる。そして、景気が悪くなると派遣切り。「均衡待遇」は努力規定だから低賃金のまま。▼さらに安倍内閣は、解雇の金銭解決、残業代ゼロ、解雇しやすい限定正社員など次々と働くルールづぶしを狙っている。労働者派遣法の改悪を絶対許してはならない。労働法制度の改悪を許さない取り組みを急いで強めなければ。

(M・Y)

TUBUYAKI

京都総評などをつくる
原発ゼロをめざす京都ネ
ットワーク（代表・宗川
吉注）は、3月12日、京
都府に福井県・原発の再
稼働に反対するよう申し
入れました。京都府防災
原子力安全課の前川理事

が対応をしました。
府側は、「30年後に原
発をゼロをめざすとい
うエネルギー政策を前提
に、専門家の知見である
原子力規制委員会の審査
結果を注視し、今は、き
ちんと報告していただき

たいと申し入れている」
「その結果、再稼働は地
元の理解と納得が必要と
思う」「ただちに廃止し
てほしいとはこれまでも
言っていない」と述べ、
国の判断を待つ姿勢に終
始し、府が率先して再稼

「再稼働を認めるな」と 京都府に申し入れ

京都原発ゼロネット



東舞鶴市をデモする参加者

3・9原発ゼロ 京都北部集会開催

3月9日午後、舞鶴市総合文化会館で原発
ゼロ京都北部集会が開催され、北部各地域から
600人が参加。

集会では舞田宗孝さんが主催者を代表して
あいさつ。グリーン・アクション代表のアイ
リーン・美緒子・スミスさんが講演。「原発の
再稼働は再生可能エネルギーへの道を閉ざす
が、脱原発の道は新しい道を開くことができ
る」と訴えました。大飯差し止め訴訟原告団
の吉本晴樹弁護士、京都北部「いのち」を守
る宗教者の会の松本満代表、米軍基地建設を
憂う宇川の会の永井友治さんが訴えをおこな
いました。

参加者は、東舞鶴駅前までデモ。原発をゼ
ロにしようと市民に訴えました。

働に反対する姿勢は示
しませんでした。
また、避難計画につ
いては、12万人の避難・移
動が必要で、避難困難者
の問題や避難先との調整
などもまだであること
や、天候良好のもとでの
計画であることなど、不
十分さが明らかで、要請
に参加した各代表は、再
稼働そのものに反対する
よう強く求めました。



3月12日京都府庁で要請する各団体代表

総評フラッシュ

2月26日

集团的自衛権問題で学習会

安倍内閣が閣議決定で集团的
自衛権行使を容認しようとする
中、京都総評などをつくる京都
共同センターが学習会を開き
「集团的自衛権の深層」の著者で
ある松竹伸幸氏が講演しました。



2月27日

労働法制学習会開催

労働者派遣法の改悪法案が閣
議決定されるなど労働法制の改
悪がいよいよ本格化する中、労
働法制問題の学習会を開催。塩
見弁護士が労働者派遣法改悪の
内容などを詳しく話しました。



2月28日

高校生卒業式で宣伝

京都総評と京教組・府立高教
組は、府立高校の卒業式に「働
くあなたに贈る権利手帳」を配
布。これは全労連の作成で、賃
金・労働条件、職場でのトラブ
ル対処などを紹介したもの。



3月2日

菜の花行動を実施

京都総評の青年部と女性部
は、パート非常勤ネットと共に、
第8回菜の花行動として四条河
原町での街頭宣伝とパレードを
実施。「ブラック企業は労働組合
でキレイに！」と訴えました。



会場がいっぱいになった
3月8日円山音楽堂



講演する
慶應義塾大学・金子勝教授

バイバイ原発 3・8集会に 2500人

福島第一原発の事故から3年。いまだに15万人以上が避難生活を余儀
なくされ、補償なども完全にされず、放射能汚染におびえながらの生活
が続いています。京都では、「バイバイ原発3・8きょう」とが午後か
ら円山音楽堂で開催され、約2500人が参加。また、9日には、舞鶴
市で約600人が参加して北部集会が開催されました。

被害者だけが泣く日本は 終わりにしたい

「う」とは、最初に黙祷。
主催者を代表して佐伯昌和
さんが「私たちは福島のみ
なさんの思いを共有し何が
できるか考えたい」「命の
問題として再稼働を許して
はなりません」とあいさ
つ。

福島原発訴訟の地協美
和さんは、「小児甲状腺が
んになった子どもは合計74
人になり異常な状況。被害
者だけが泣く日本は終わ
りにしたい」と訴えました。
福島から京都に避難して
きている、うのさこさん
は、「この3年間必死に生
きてきました。まるで戦争
の中で生きているよう」

金子 勝さん 「脱原発は不可欠」と よびかけ

慶應義塾大学の金子勝教
授が講演。「事故の収束と
放射能の除染、被害者への
賠償を最優先すべき」「そ
れらの費用は「もんじゅ」
などの維持費などを活用す
れば可能」「福島を救うた
めには脱原発が不可欠」と
強調。「脱原発は再生可能
エネルギーの時代をつくる
新しい産業構造や新しい社
会システムを生む。ここに
こそ経済合理性や発展があ
る」とよびかけました。

京都への米軍基地設置を問う

シンポジウムを開催

「京都に米軍基地いらない府
民の会」は、3月4日夜、京都
市内のキャンパスプラザ京都
への米軍基地の設置を問うシン
ポジウムを開催し、150人が
参加しました。

シンポジウムでは、共同代表
の森下総子新婦人会長が主催者
を代表してあいさつ。続いて、
キャサリン・ジェーン・フィッ
シャーさんが、自ら米兵から性
的暴行を受け、日本の警察から
も二次被害を受け、裁判をたた
かてきた経緯を報告。米兵の
犯罪を裁かない秘密協定がある



3月4日キャンパスプラザ京都にて

ことも告発しました。
また、京丹後市・宇川の米軍
基地建設を憂う会の永井友治さ
んが現地のとりくみなどを報
告。府民の安全・安心を守るは
ずの現知事が「米兵は紳士ばか
りで心配ない」と地権者に語っ
たとの報告には会場にどよめき
がおこりました。
パネルディスカッションで
は、電磁波・関西の会の寺岡敦
子氏、立命館大学教授の藤岡惇
氏、ジャーナリストの竹下岳氏
が報告。寺岡氏は電磁波過敏症
で苦しんでいる人がいることを
紹介。電磁波被害が危惧される
と指摘。藤岡氏はミサイル防衛
のためのレーダー基地は、いわ
ば先制攻撃を促進するものに他
ならないとその危険性を指摘。
竹下氏は、米本土へのミサイル
は北極圏を通り、日本の防衛と
は全く関係ないと指摘しました。
最後に、シンポジウムの閉会
あいさつにたった共同代表の尾
崎望京都民医連会長は、「府民の
安全は絶対に守ると言うのが知
事の責務。力を合わせて米軍基
地ノーを実現しましょう」と訴
えました。